

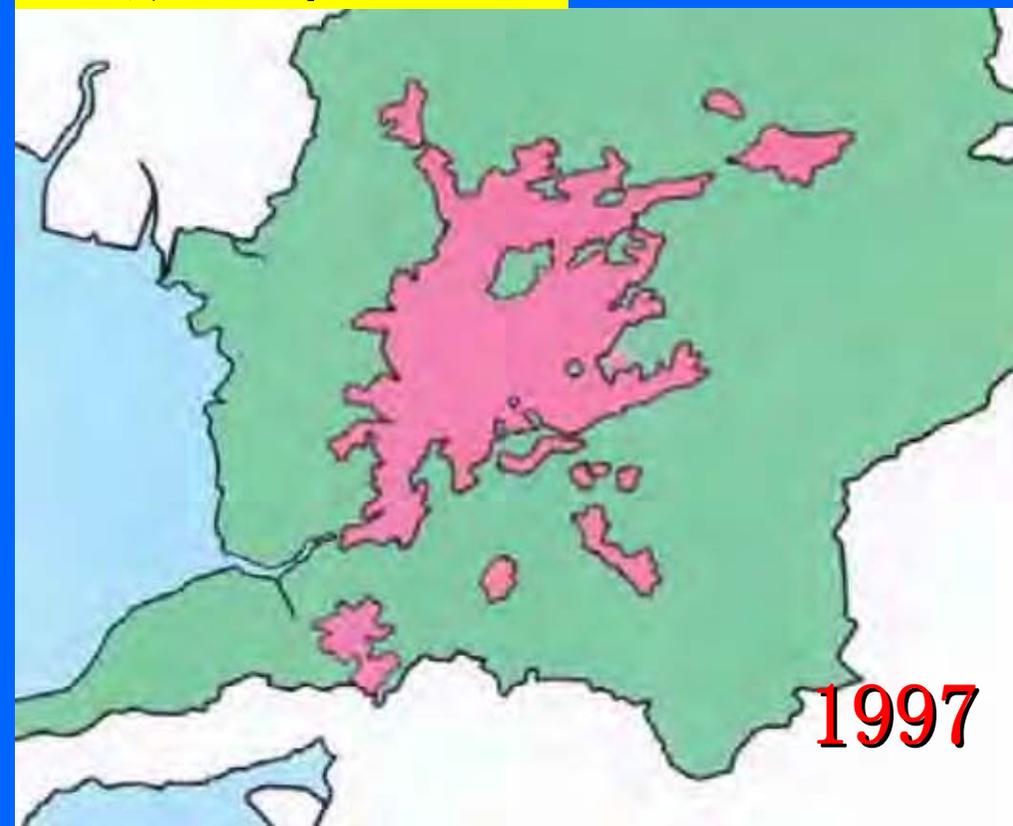
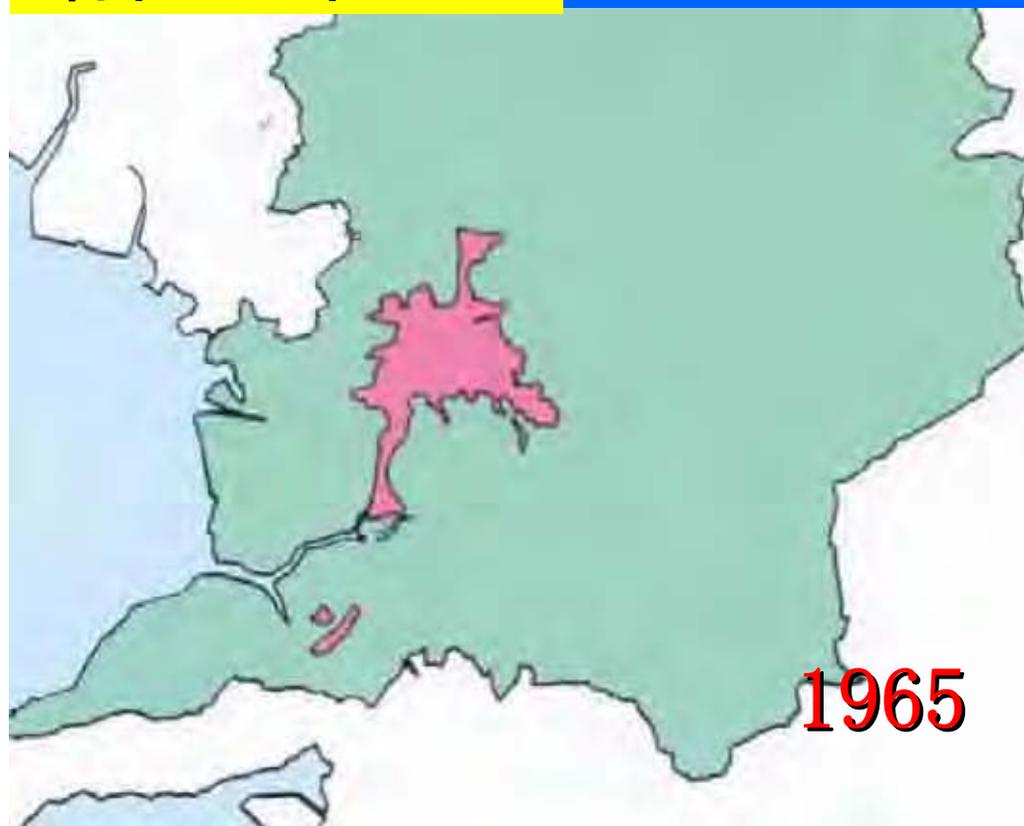
都市化により拡大する非かん養域

非かん養域の変化 (93 km²→225km²)

昭和40年

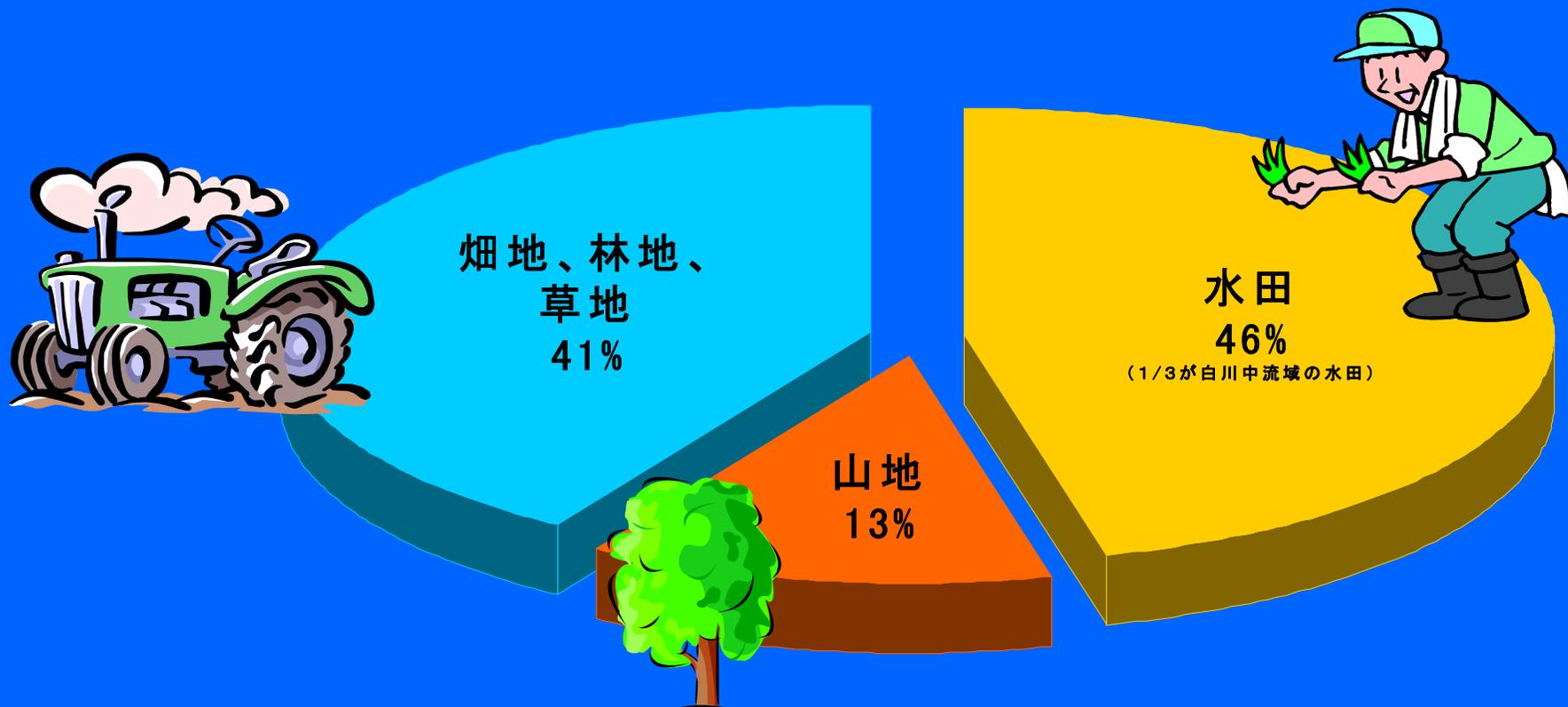
■ 非かん養域

平成9年



地下水のかん養割合

- ・水田から全体の46%がかん養
- ・転作水田面積が拡大(4割超) → かん養量が減少



地下水量の現状

- 地下水位は長期的に下がり、湧水は目に見えて減少している
- 採取量の抑制は産業面で進んだが、生活面では横ばいである
- 涵養量の減少が、大きな影響を与えている

熊本市地下水量保全プラン 2004-2008

⇒「まちづくり戦略計画」 地下水はターゲット1

豊かな水を守り伝える

基本方針1：水のムダを省く

生活用水

基本方針2：水をつくり出す

白川中流域

基本方針3：水の源を大切にする

白川中流域

目標値(熊本市)

[目標年次] 2008

年間地下水かん養増加量

3,000 万m³

年間地下水採取量削減量

400 万m³

一人一日当りの生活用水使用量

230 リットル

(2003年 : 246 リットル)

施策の全体見取り図(プランの施策体系)

基本目標

豊かな水を守り伝える

基本方針

施策の展開

事業メニュー

水のムダを省く

市民協働で節水施策を展開する

節水型機器でムダな水をカットする

節水型社会に向けた制度づくりをする

節水市民運動

地域から家庭への波及

節水器具の普及促進

経済的手法の導入

事業所の節水促進

学校教育から家庭への波及

地下水警戒警報制度

節水型機器の指定制度等

雨水利用の促進

上水道の有効率の向上

水をつくり出す

白川中流域の水田で水をつくり出す

森で水をつくり出す

街と畑で水をつくり出す

白川中流域の水田活用

畑地の雨水浸透施設設置促進

企業・団体等の自主的取組の拡大

雨水の地下浸透施設を設置

雨水浸透樹の設置推進

水源かん養林の整備

かん養池の設置等

熊本市地下水量保全プラン

基本方針 1 : 水のムダを省く

節水社会実験



雨水やお風呂の水等の活用

小学校への雨水タンク設置(年間10校設置予定)

新設校の地下には雨水タンクを設置し、トイレ用水に活用



熊本市地下水量保全プラン

基本方針 2 : 水をつくり出す

白川中流域の水田で水をつくり出す

- 1990年頃のかん養量 → 年間約 1億 m^3
- 熊本市水道局の取水量 → 年間約 8,600万 m^3

